

えちぜん鉄道利用現状報告

えちぜん鉄道(株)は平成14年9月17日に設立され、平成15年10月に全線開通しました。会社設立から5年を迎えた「えち鉄」の現状な
 ヌリコトコトコ報告いたします。

問 生活環境課(管内線263)



えちぜん鉄道乗車人員

電車存続問題がされていた平成11年当時の需要予測では、乗車人数は年間2%ずつ減少するであろうとされていました。しかし、平成18年度の年間乗客数は、沿線サポーター、行政との共同イベントの企画、遠足での電車利用、通勤通学定期の増加により292万人となりました。(表①)

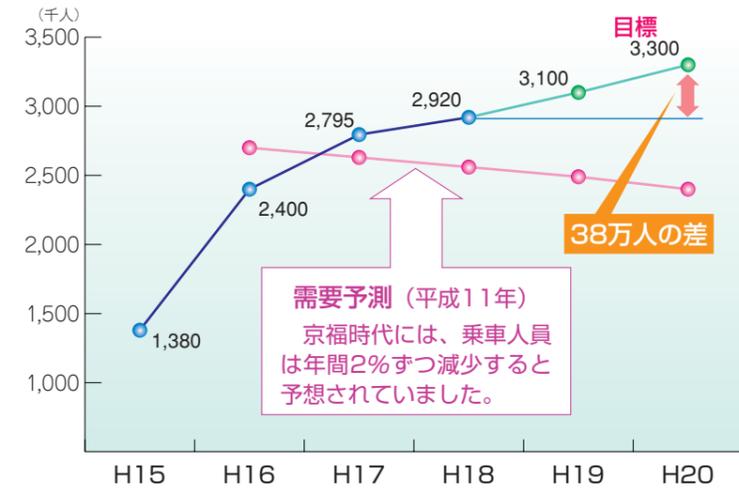
この数字は、京福時代より増加していますが、黒字化するための目標人数である平成20年度に330万人を達成しなければなりません。

また、勝山市内駅の乗車人数をみますと横這い状態が続いており、平成18年度は前年度より落ち込んでいます。

電車利用の意識を盛り上げて、市民一人ひとりが乗る機会を増やしましょう。

(表②)

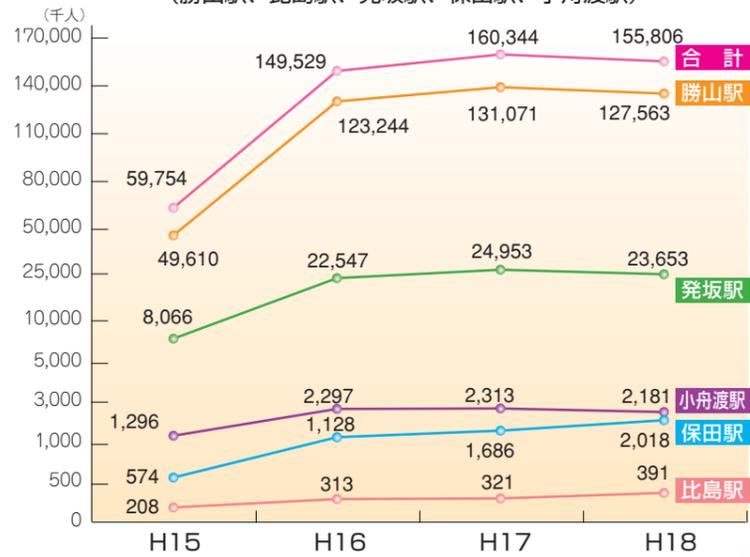
表① えち鉄乗車人員 (H15~H18実績、H19~H20目標)



需要予測(平成11年)
 京福時代には、乗車人員は年間2%ずつ減少すると予想されていました。

表② 勝山市内での乗車人員

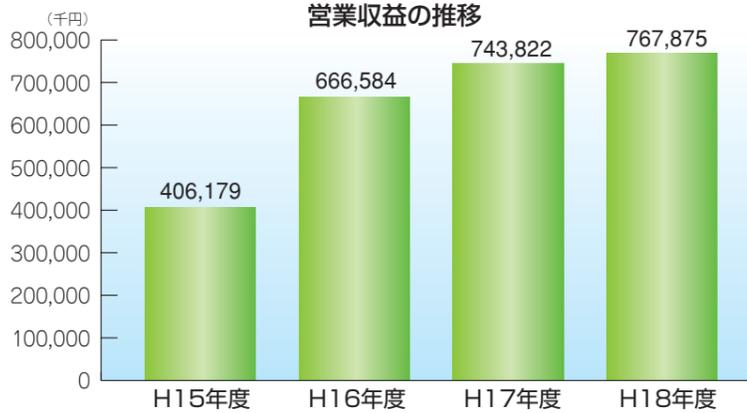
(勝山駅、比島駅、発坂駅、保田駅、小舟渡駅)



営業の推移

えちぜん鉄道の営業収益は、年間乗客数とともに年々増加しており、また会社の経営努力によりコスト削減も行っていきます。

その結果、欠損額は年々減少しており、沿線市町からの欠損補填である「えちぜん鉄道支援事業補助金」も年々減少しています。市町からの補助金も含まれた平成18年度の営業収益は7億6700万円、経常損失は2億8100万円、純損失700万円となっています。



安全運転のための設備投資

えちぜん鉄道では利用者のかたがたに、安全・正確かつ快適な輸送サービスを提供するため、設備投資を積極的に行っています。

平成18年度設備投資

- ・国から2億9000万円、県から3億9000万円の補助金により実施
- ・落雷対策工事
- ・倒木対策・斜面崩落防止工事
- ・山王変電所改良工事
- ・車両更新工事
- ・コンクリート柱化工事
- ・軌道補修 ほか

「めざまストレイン」運行開始

ビジネス・単身赴任などのかたの利便性向上のため、週明けに「福井行き」早朝列車を運転し、JR始発特急列車(関西・中央方面)に接続します。

週明けの月曜日(月曜日・火曜日)が休日の場合はその翌日(のみ)運行します。

駅名	発着時刻
勝山駅発	午前5時09分
福井駅着	午前6時01分
福井駅発	午前6時14分
しらさぎ	午前6時24分
サンダーバード	

勝山駅利用者数 100万人突破

9月3日の利用者で、全線開通からの勝山駅利用者が100万人を突破しました。

これを記念しまして、9月17日のえちぜん鉄道設立日に、電車利用者への記念品配布を行います。左記日時の電車利用をお待ちしております。

と き ◆9月17日(月・祝)

午前8時

内容 ◆勝山駅で乗降されたかたに特製エコバッグをプレゼントします(先着300名)



利用者が100万人突破した勝山駅

えちぜん鉄道に 2新駅開業

9月1日(土)に、三国芦原線に「日華化学前」と「八ッ島」の2駅が新設されました。



日華化学前



八ッ島